

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	仕事が減った人と社会課題のマッチング
事業名(副) ※任意	若者・子育て家庭・観光従事者を支える仕組

入力数 主 18字 副 20字

実行団体名	NPO法人大雪山自然学校
資金分配団体名	認定NPO法人北海道NPOファンド

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0字

**SDGsとの関連**

<b>ゴール</b>
_1.貧困をなくそう
_3.すべての人に健康と福祉を
_4.質の高い教育をみんなに
_5.ジェンダー平等を実現しよう

実施時期	2020年10月 ~ 2021年9月	事業対象地域	<input type="checkbox"/> 全国 <input checked="" type="checkbox"/> 特定地域 (北海道・旭川市・東川町)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	子育て家庭(子供・保護者)、非正規雇用者(主婦/主夫、大学生、若者)、観光事業従事者(ガイド・ホテル従業員・観光協会・ビジターセンター)	事業対象者人数	子供200名、子育て家庭50世帯、非正規雇用者20名、観光事業従事者100名
------	--------------------	--------	---	---------------------------------------	--	---------	--

**I.団体の社会的役割**

<b>(1)申請団体の目的</b>
■当団体の目的 ①利用者による環境保全の仕組みを構築すること ②自律的に行動する利用者・消費者（地域住民・旅行者）を増やすこと ③地域理念を追求し、地域資源を活かしながら、地域の価値を高めること ■ビジョン 地域住民ひとりひとりが主体的に目の前の課題について考え、相互に学び、自律的に行動できる社会
<b>(2)申請団体の概要・事業内容等</b>
2001年NPO法人ねおすの東川支店として設立、2015年法人化 ①環境保全：大雪山国立公園旭岳周辺での環境保全活動や外来生物防除、森づくり活動 ②子供自然体験：企業主導型保育事業、木育・水育・修学旅・親子プログラムコーディネート ③交流推進：エコツアーガイド、持続可能な観光・アドベンチャートラベルの推進 ④人材育成：自然体験活動指導者養成講座の実施、大学実習・ボランティア・インターンシップの受入

入力数 (1) 150字 (2) 200字

**II.事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
北海道旭川市(332,300人)や隣接する東川町(8300人)では、新型コロナウイルスにより、保育園や学校の時間短縮、習い事や少年団活動が縮小となり、子供が自宅にいる時間が長くなった。それに伴い、ストレスの蓄積や体力の低下など成長や健康への悪影響が予想されるとともに、子供と保護者が孤立し、日常生活に困難を抱える子育て家庭の増加が懸念される。(東川町教育委員会) また、保護者が働けないことで家庭の収入が減ることや、若者、専門学校生、大学生、主婦/主夫等の非正規雇用者においては、飲食店等サービス業における短時間アルバイトが減ることで、経済的困窮者になりかねない。(旭川福祉専門学校、NPO法人ezorock) さらに、大雪山国立公園などの観光地においては、ガイドツアーやホテルの客が例年の半分以下に減っている。ホテルにおいては従業員の解雇が既に始まっており、ガイド事業者においては廃業の可能性が高まっている。解雇されたホテル従業員やガイド事業者が社会的に孤立している。(大雪山カムイミントラDMO、ひがしかわ観光協会) こうしたことから、子供と保護者の居場所がなく、非正規雇用者と観光事業者の仕事が無いことから発生する社会的孤立が問題である。同時に、子供の居場所に関しては、感染リスクが低い屋外活動のニーズが高まっている。日々の生活に忙しい子育て家庭は、その声を社会に強く上げていくことが難しくサイレントマジョリティの可能性もあり、これらは緊急性の高い案件だと考える。

入力数 639字

### III.事業内容

(1)事業の概要
<p>当事業では、コロナ禍において社会的に孤立しがちな子育て家庭や非正規雇用者が、①子供が安心して過ごせる居場所を確保するとともに、②非正規雇用者をそのスタッフとしてマッチングを行う。特にインフォーマルな子供の居場所づくりに力を注ぎ、子供も保護者もスタッフも安心して活動できるよう研修を充実させる。</p> <p>これにより、子育て家庭にとっては多様な交流の機会が増え、非正規雇用者は子供や地域とつながりのある活動で収入を得ることが期待される。なお、非正規雇用者の仕事は、保育現場だけではなく、親子が訪問する森や遊歩道整備等、観光地における環境整備も想定しており、個人の特性に合った現場と研修機会を提供する。</p>

入力数 296 字

(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態
<p>当事業が見据える理想の状態は、新型コロナ問題が長期化しても、非正規雇用者のマッチングと人材育成を迅速に行い、状況に応じてインフォーマルな子供の居場所が確保される状態である。また非正規雇用者が一方的に失業するのではなく、研修や現場でのコミュニケーションを通して自己実現を応援し、地域のつながりが保たれた状態である。目標値は、200名の子供自然体験活動。非正規雇用者10名のマッチングと研修とする。</p>

入力数 198 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
保護者とスタッフの社会とのつながりが維持される	保護者の満足度、スタッフの満足度	アンケート/ヒアリング	満足度調査70%以上	2021/6/1
子供に居場所が提供される	子供の受け入れ人数	参加者数のカウント	100名の子供が参加	〃
非正規雇用者の活動の場がある（保育現場）	指導者人数	指導者数のカウント	10名以上が指導者として参画	〃
非正規雇用者の活動の場がある（観光環境整備）	環境整備スタッフ人数	環境整備スタッフのカウント	10名以上が環境整備活動に参画	〃

(4)活動	時期
<p>■非正規雇用者の募集とマッチング</p> <p>・常時募集とマッチングを行う。2020年9月と2021年4月は、大掛かりな募集をかける。</p>	2020年10月～2021年9月
<p>■子供の居場所の提供（月に10日間以上の実施）</p> <p>・月に3回以上の週末自然体験イベントの実施（森のようちえん・プレイパーク・子供エコツアー）</p>	2020年10月～2021年9月
<p>・週に2回以上の平日放課後自然体験型保育の実施</p>	2020年10月～2021年9月
<p>■観光地環境整備活動のマッチングと研修（基本的に無積雪期の活動。2回に分けて実施）</p> <p>・秋の環境整備活動（リスクマネジメント研修9月、活動9～10月）</p>	2020年10月～11月
<p>・春の環境整備活動（リスクマネジメント研修5月、活動5～8月）</p>	2021年5月～9月

### IV.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	<p>荒井一洋（事業責任者：スケジュール管理、リスクマネジメント、地域との連携調整）</p> <p>嘉屋梢（総務・経理、現金管理、スタッフ募集）</p> <p>小沼秀樹（子供の居場所づくり担当：イベント企画、他団体との連携、人材育成、事業進行管理）</p> <p>社本麗奈（観光地環境整備担当：環境整備事業とのマッチング、スタッフのフォロー）</p>
(2)他団体との連携体制	<p>保育園キトウシ子どもの森、ひまわり保育園(スタッフ派遣先)、東川町子ども未来課(連絡調整)、旭川福祉専門学校、教育大学旭川校(学生の紹介)、東川仕事コンビニ(非正規雇用者の紹介)</p> <p>東川観光協会(ガイド募集)、東川町産業振興課(連絡調整)、北海道上川総合振興局(登山道整備実施主体)、環境省東川保護官事務所(大雪山国立公園管理者)</p>
(3)想定されるリスクと管理体制	<p>【保育事業】①子供との活動は濃厚接触となりやすく感染症リスクが高い。対策は国の保育園における感染症対策ガイドラインの実行し、それが適切に実施されているかの確認と改善を総務が行う。②ケガなどの身体的リスクやいじめなどの人間関係や心理的リスクの対策は、保育マニュアルの実行、指導者同士緒観察と意見交換、改善を行う。③保護者とのミスコミュニケーションのリスクについては、相手の話を聴くことを基本に相手が必要としている情報を提供する。まずは現場責任者、次に事務局、最後に事業責任者の順に対応をする。事務局レベルの対応になる時には理事会に報告する。④新たに入るスタッフには、これら現場でのリスクについての研修を行う。⑤全員に傷害保険と賠償責任保険を掛ける。</p> <p>【観光地環境保全事業】①事業従事者のケガに対しては、現場レベルでの事前研修、当日の確認、万が一の事故に備えた連携体制(消防等)を取る。②整備をした施設の安全性の担保については、スタッフの技術研修と、実施後の施設管理者の監査にて安全性確認をする。</p>

### V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無				
新型コロナウイルス感染症に係る事業				
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）		
(2)申請事業の社会課題に関連する調査研究、連携の実績				
<p>東川町子ども未来課、東川町教育委員会と「保育の質向上」と「待機児童0」について連携し、定期的な意見交換をしている（2017年～）</p> <p>東川観光協会、旭川カムイミントラDMOと、コロナ感染拡大に伴う観光事業者の支援策に関する連携（2019年3月～）</p>				